

事業所名

栗田園（放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日

7年

3月

27日

法人（事業所）理念		利用者の人としての尊厳を大切に、地域社会でゆとりと潤いのある、その人らしく、いきいきと自立した日常生活が送れるよう、利用者様本位のニーズに合った福祉サービスの提供に努める。							
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・社会性を基本とした力を伸ばすための支援を提供します。 ・学齢期のライフステージに応じた支援を行います。 ・PDCAサイクルを大切にオーダーメイドの個別支援計画を作成し発達支援を行います。 ・複数の事業を展開する法人の強みを活かし連携しながら個々の特性に合わせた支援を行います。 ・常に家族からの相談に応じる体制を作り家族支援を行います。 ・関係機関との連携を図りながら早期発見・早期支援に努めます。 							
営業時間		平日	9時	45分	18時	0分	送迎実施の有無	あり	
		休日	8時	30分	18時	0分			
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	利用児童が一定のリズムで生活できるよう主活動や余暇の時間をある程度固定化します。また、調理活動や公共交通機関の利用など、ご家庭でも利用児童が進んで実施しやすい活動を提供致します。							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児童をアセスメントした上でのグルーピングや活動スペースの設定により、利用児童が安心して事業所を利用できるよう環境調整を行います。 ・活動（調理、購買、制作、個別課題、パソコン）を通して、声量や力の調整、手指の動作性など様々な感覚を刺激できるよう支援を行います。 							
	認知・行動	利用児童が主体的に行動することができるよう事前に一日の活動内容を示します。また、必要に応じてタイマーや視覚的な手がかりを使用し、あくまで利用児童が主体的に行動できるように支援を行います。							
	言語コミュニケーション	その場に適したコミュニケーションを図ることができるよう利用児童が主体的に討論を行う場（係分担、活動の提案）を提供致します。その中で交渉がうまくいかない場合は、より良い解決方法を利用児童自身が導くことができるよう職員が助言を行います。							
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい人間関係を形成することができるよう、曜日ごと利用児童を固定化します（調理、購買、制作、個別課題、パソコン）。その上で、活動に限らず交渉や相談など社会性を学べる場を提供致します。 ・休日や長期休みは、長野圏域における様々な施設を利用したり、公共交通機関を利用した外出、地域の食堂での外食活動などを通し、公共の場でのマナーや他者との関わりを学ぶ機会を提供致します。 							
家族支援		電話のみならずSNSを使用することで、事業所に気軽に連絡や相談ができる体制をとります。また、年2回の保護者面談を行う中で、利用児童のご家庭での様子やご家族の希望などをより詳細に伺います。					移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージの変化に合わせた移行支援会議への参加 ・隣接した就労継続B型施設での作業体験 	
地域支援・地域連携		利用児童も地域の一員として活躍できるよう、なるべく近隣の公共施設を利用します。また、近隣のみに限らず、外出先でも顔なじみとなれるよう、一度利用した施設は定期的に利用します。					職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚統合理論、ABA応用行動分析、構造化、特性理解等の専門研修を行います。 ・虐待防止、身体拘束等適正化、感染症対策、BCP等の研修を行います。 	
主な行事等		利用児童の希望に基づき活動が変動するため、決まった行事はありません。							